

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひかり苑日南

作成日: 令和 5 年 10 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の弊害や必要な要件などを理解しているが、体動が激しく転倒・転落の危険がある方に対して、手順を踏まえてベット柵の4点設置などを行っている。	ホームの理念や身体拘束の弊害を再度共有し、現在の対応に終始するのではなく、より良いケアのあり方について継続的に検討する。	・職員研修会等を通じて、身体拘束がもたらす多くの弊害を正確に認識する。 ・身体拘束解除に向けた検討会を定期的開催し、身体拘束をせずに行うケアに取り組んでいく。	6ヶ月
2	35	水害の防災計画を作成し、定期的な訓練を行っている。火災に関して、ホーム内の避難訓練に留まっており、地域との協力関係もやや乏しい。	火災に際して、地域の自治会や消防団等との協力体制の構築を目指す。また、安全な避難訓練の実施に取り組んでいく。	・運営推進会議等を通し、地域・消防団への協力をお願いし、合同での避難訓練や夜間帯の火災を想定した避難訓練を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。